

## マーケットの動き（2026年2月16日～2月20日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週前半は、前週の第二次高市政権の発足を受けた株価上昇の反動から高値警戒感が意識されたほか、日銀の利上げ観測が後退したことで銀行株を中心に売りが広がり、国内株式市場は軟調に推移しました。その後、米ハイテク株高や、外国為替市場での円安進行を背景に株価は持ち直しましたが、週末には核開発を巡る米国とイランの関係緊迫化への懸念が強まり、再び下落しました。

## 投資環境見通し（2026年2月）

## 国内株式相場は底堅い動き

企業業績については、全般的な景況感の改善傾向を背景に、総じて堅調とみています。

国内株式相場は、海外情勢に対する懸念に加えて、政府による財政拡張政策の負の側面が意識される中、当面は変動率の高い状況が続くとみられます。しかし、円安や国内長期金利の上昇に対する政策対応が見込まれることや、足元の企業業績動向を踏まえれば、国内株式相場は次第に底堅く推移するとみています。

	2月20日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	3,808.48	▲0.27%	5.04%	22.90%	39.27%
日経平均株価	56,825.70	▲0.20%	7.24%	32.50%	46.92%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

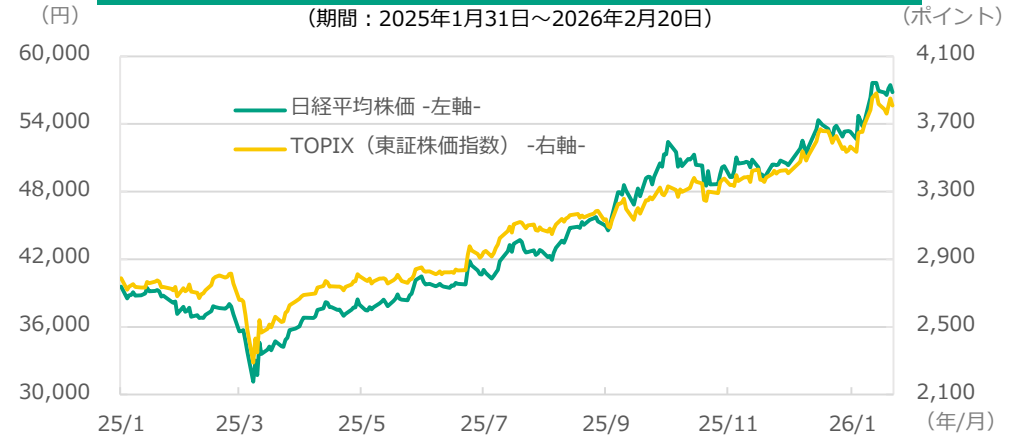
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202602\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202602_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

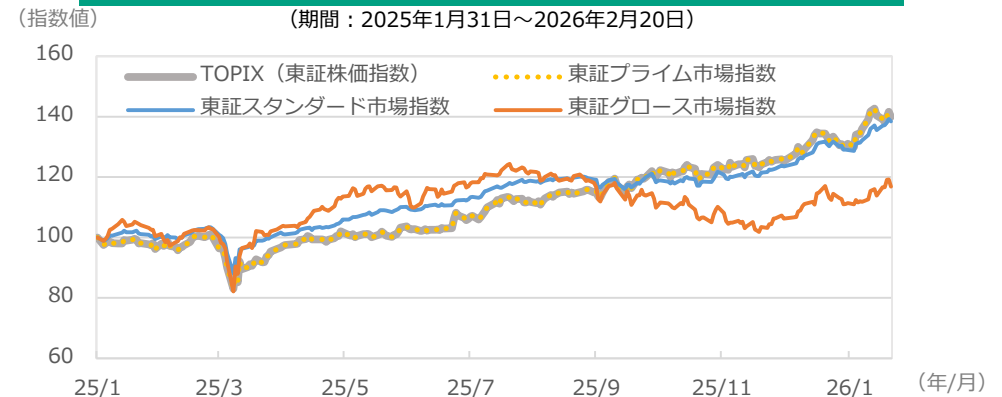
## 日経平均株価、TOPIXの推移

（期間：2025年1月31日～2026年2月20日）



## 東証市場別指数の推移

（期間：2025年1月31日～2026年2月20日）



※2025年1月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成